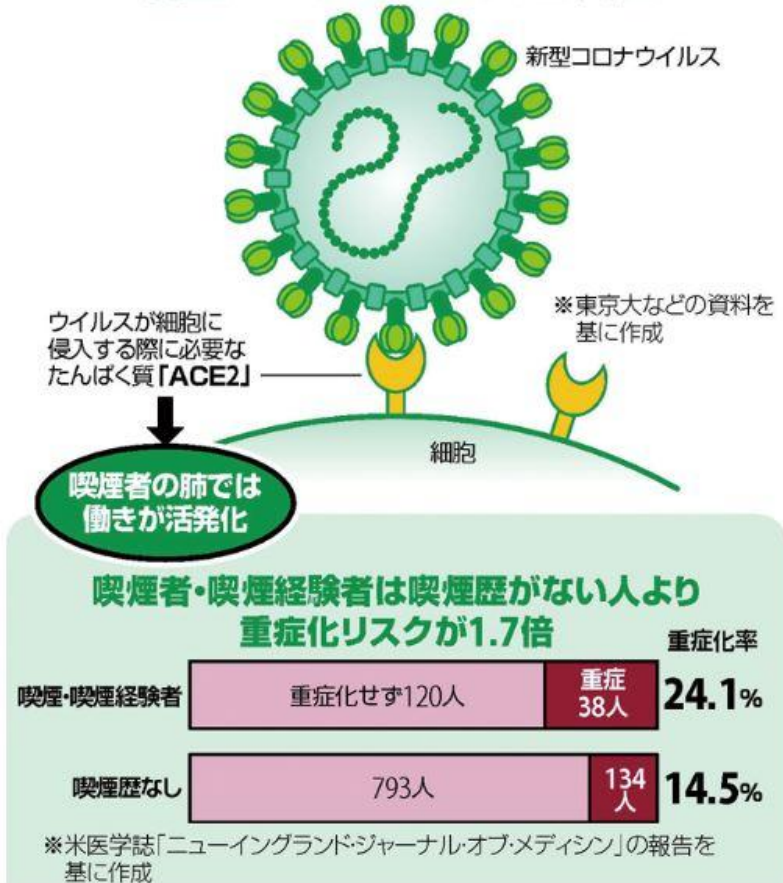


週刊 タバコの正体

新型コロナウイルスと喫煙



8月に入りました、例年なら夏休み真っ只中のはずですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休校があり、6月に再開したので今週ようやく1学期が終了します。

再開してから感染者は減っていましたが、最近ふたたび増加しています。目に見えないウイルスがどこに潜んでいるか分からないうえ、感染するとどんな病気になるのか、治療方法はあるのか、など未知なことが多く、世の中全体に不安が広がっています。

左図は、ウイルスが体内に侵入する際の仕組みです。「ACE2」と呼ばれるたんぱく質が関係しているそうですが、どういう訳か、喫煙者の肺ではこれが活発化しているので、喫煙者が感染すると重症化するリスクが高くなっているそうです。タバコは様々な病気の原因になるうえに、こんな場面でも人体に悪影響を及ぼします。

さて来週、ひとときの夏休みがありますが、すぐに2学期が始まります。世界ではさまざまな専門家が必死で新型コロナウイルス対策を研究してくれているので、いずれ安心な日々が訪れでしょう。それまでは、私たちも一人一人が感染しない努力を続け感染拡大を抑え、少しでも不安な状況を和らげる事に協力しましょう。

産業デザイン科 奥田 恭久

